

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) の臨床経過に対する多施設共同前向き観察研究
所属科*	消化器内科
研究責任者*	法水 淳
研究実施期間	開始 西暦 実施承認後 ~ 終了 西暦 2028年 12月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	非アルコール性脂肪性肝疾患 (当院 20 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 実施承認後 ~ 至 西暦 2028年 12月 31日 (予定)
研究概要*	NAFLD は本邦だけでなく全世界的に有病率の増加している慢性肝疾患である。一部の患者では炎症や線維化が進展し、NASH や肝硬変に至ることも知られており、肝癌や非代償性肝イベントが発症する。しかし、現在のところ線維化の進展や肝発癌に関する予測は困難であり、今後リスク因子に関しての検討が必要である。また、NAFLD 患者はメタボリックシンドロームを合併していることが多く、肝臓疾患以外にも、他臓器発がんや心血管疾患による死亡も多いことが報告されている。本研究では NAFLD 患者を前向きに集積し、肝線維化、発癌 (肝臓および他臓器)、死亡などとの関連を検討することを目的としている。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署 (施設・研究室) で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 消化器内科 法水 淳